

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

「つなげる力」が生き方を変える

～公民館『おらほの地域応援し隊』プログラム～
「世界でいちばん受けたい授業 [よのなか] 科 in 合川中」が11月8日に開かれ、東京都で義務教育初の民間校長を務めた藤原和博氏が公開授業を行い、生徒や地域住民らが人生に役立つキャリア形成や世の中の「納得解」を求めることを学びました。

講演のなかで藤原氏は、互いのアイデアを引き出しながら「人生の中で、柔軟な発想を持ち、全く違う要素をつなげ、新しいものを創り上げていくことが大切」などと助言しました。また、午後からは合川公民館で『「つなげる力」が生き方を変える～地

域づくり×人づくりに必要な「本当の力」を育もう』と題して講演会が行われました。



▲藤原和博氏による公開授業

作家・渡邊喜恵子さんを語る

～劇団文化座俳優・阿部勉 特別講演会～

11月1日から文化会館で開催中の「直木賞作家渡邊喜恵子生誕100周年記念展」の一環として、11月9日に劇団文化座の俳優・阿部勉氏の特別講演会が、みちのく子供風土記館で行われました。

講演は、たかのす劇団代表・成田豊人氏との対談形式で行われ、平成3年たかのす風土館（現・文化会館）がオープンした際に、文化座によって上演された芝居「みちのく子供風土記」の思い出や、渡邊さんとのエピソードなどが語られました。

また、講演には渡邊さんの親族や、直木賞受賞作「馬

淵川」の題材になった岩手県二戸市から市の職員が駆けつけ、交流を深めました。



▲講演する阿部勉さん(左)と成田豊人さん(右)

むかしながらのドーナツ作り

～合川公民館「子どもおやつ教室」～

合川公民館主催の「子どもおやつ教室」が10月21日に合川西児童クラブで行われ、放課後児童クラブといきいきタイムの児童ら25人が参加し、ドーナツ作りに挑戦しました。

ドーナツ作りは、生地を麺棒でのばしたり、型抜きでリング形にするなど、地域のボランティアの皆さんに教わりながら、にぎやかに進められました。

また、ドーナツを揚げている間には、成田友加子さん（坊沢）を講師に音楽に合わせたストレッチや絵本の読み聞かせで楽しい時間を過ごしました。

参加した児童からは「おいしかった。家でもまた作ってみたい」などの感想が寄せられました。



▲手に粉をつけて型抜きに挑戦！

学びの広場

第3回『ふるさとの未来・再考！フォーラム』

開場 生涯学習課 ☎62・1130

「まちの宝を見つけ出せ！郷土の誇りを子どもたちに」をテーマに、地域づくりについて理解を深めます。

期日 12月8日(日)
時間 9時30分～15時
会場 北秋田市交流センター



- ◆基調講演(9時30分～)
演題 『高校生レストランの奇跡』
講師 三重県多気町まちの宝創造特命監 岸川政之氏
- ◆事例発表(11時15分～)
◆パネルトーク(13時～)

生涯学習フェスタ

開場 生涯学習課 ☎62・1130

各種講座などで学習した成果を伝え、今後の活動につなげていくことを目的に生涯学習フェスタを開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

日時 12月14日(土) 10時～15時
会場 中央公民館

- ◆ステージ発表 鷹巣中央小学校三味線クラブ/スコープ三味線講座ほか
- ◆体験コーナー 手づくりクラフト
- ◆秋田北鷹高校家庭クラブほか
- ◆比内養護学校たかのす分校

『絆カフェ』コーヒー120円ほか

合川公民館公開講座

開場 合川公民館 ☎78・2114

フラワーアレンジメント講座

日時 12月19日(木) 14時～16時
会場 合川公民館
講師 たかのすフラワー
定員 先着15人
参加費 2000円
持ち物 花切用ハサミ



ミニはがいた作り教室

日時 12月20日(金) 10時～12時
会場 合川公民館
講師 平川富子さん
定員 先着15人
参加費 500円
持ち物 筆記用具、ものさし、ハサミ
申込期間 12月2日～13日



阿仁公民館公開講座

開場 阿仁公民館 ☎82・2220

お正月フラワーアレンジメント講座

期日 12月27日(金) 13時30分～15時
会場 阿仁ふるさと文化センター
講師 長崎フラワー
定員 先着20人
参加費 2500円程度
持ち物 花切用ハサミ
申込期間 12月2日～12日



ふるさとの文化財

北秋田市指定無形民俗文化財

〇坊沢獅子踊り

69

- ◇所在地 北秋田市坊沢
- ◇管理者 坊沢獅子踊り保存会

〈内容〉

奴踊り、獅子踊り、棒使い

〈起源〉

藩政時代の今から約300年前お盆になると村の若勢(若者)たちが集まり、「厄除け獅子」を主体に、大名行列の姿をまねた奴踊りを演じたことが始まりと言われています。

享保10年(1725年)に起きた「五義民事件」で犠牲になった5人の義民の霊を憐れみ慰めるため、その墓前でも演じられるようになったと伝えられています。太平洋戦争中は一時中断したこともありましたが、戦後復活し、その後「獅子踊り保存会」が結成され今日に至っています。

〈構成〉

1. ぶつ込み、
2. 獅子踊り、
3. 戦前は、上(かみ)、下(しも)の二派に別れていました。



▲坊沢獅子踊り

- ▽平成25年6月27日指定文化財
- ▽資料/北秋田市教育委員会作成資料、「日本史辞典」(角川新版)、「広辞苑」、「鷹巣町史第1巻」、嶺脇勉氏作成資料ほか
- ▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二